

へばだば

64

編集・発行：自立生活センターPingあおもり・就労継続支援B型事業所スタジオとまと・特定非営利活動法人ピアネット
038-0011 青森市篠田1-8-1 エムズコーポ101/tel.fax：017-761-2770/e-mail：ping@ping-aomori.jp
http://www.ping-aomori.jp/ping_page/index.htm 発行責任者／佐藤 広則

「へばだば」＝津軽弁で、「じゃあね」というような意味。

階段昇降機 エスカルの試乗体験 JR青森駅

青森駅が改修工事（完成は2年後）に入るのに伴って、これまで車いす利用者は荷物用のエレベーターでホームに行っていたのだが、それに代わって階段昇降機『エスカル』が設置された。早速、JRにエスカルに試乗体験をさせてほしいと連絡を入れた。JR側と交渉した結果、4月4日の10時から体験することになった。

青森駅のエスカルの利用状況は、1日に多くて4～5人利用する状況だそう。基本的に、操作は駅員が行い、最低1名で対応が可能だ。JR側のお願いとしては、人員を最低1名確保しなくてはならないために、前日までの連絡をお願いするとの事だが、当日でも構わないとの事だった。前日までに連絡となるとスムーズな対応ができるとのことで、なるべくは前日までの連絡をお願いしたいと担当者の方はおっしゃっていた。

正直、階段昇降機に乗る体験はしたことがなかった。乗った感想としては、音は比較的静かで、乗り心地は微妙な印象を受けた。乗り心地の理由としては、小刻みな揺れを感じ、初めて使う人には少し慣れない

印象を受けるかもしれないからである。

体験途中に、緊急停止ボタンを押す体験もさせていただいた。このボタンは、乗っている人が1番押しやすい位置にあるために、本当に緊急になった場合に便利だなと感じた。階段の上や下にも緊急停止ボタンが設置されており、万が一の対策が考えられていると感じた一方で、そのボタンが何のカバーもかかっていなかったことから、いたずらで押されると困るなども感じた。その他にも、乗っているカゴの前に人が立つとセンサーが働き、緊急停止する機能もある。

なお、この体験の様子動画は当団体のFacebook（<https://www.facebook.com/ping.aomori/>）で見ることが可能だ。

今回の取材に関して協力していただいた、JR東日本盛岡支社青森支店の磯嶋さま、JR東日本青森駅営業助役の神さまを始めとするJRの方々、取材に協力してくださり、感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。（白戸駿平）



階段昇降機 エスカルの試乗体験	1	外出企画～ランチに出かけよう	4
「PSCあおもり」ジャーナル メンバー募集中	2	就労継続支援B型事業所の見学会に参加	4
車いすです暮らす私の家	2	花見のお知らせ	4
制度を知ろう！選挙・投票編	3	土曜企画 しゅみ活「絵、描こうよ」	4
「もしも、事業所での業務中に災害が起きたら」	3	編集後記	4

電動車いすサッカーチーム 「PSCあおもり」 ジャーナル

メンバー募集中

長いこと県立青森第一高等養護学校体育館を無償でお借りして練習をしてきましたが、学校の改修工事等のためお借りする事ができなくなりました。サッカー用の電動車いすを預かっていただいた上に、練習前には充電もして下さり、何から何までお世話になりっぱなしでした。本当にありがとうございました。

今後は青森県身体障害者福祉センターねむのき会館体育館をお借りして練習をすることになりました。早い者勝ちの予約になるので定期練習とは行かなくなるかもしれませんが、引き続き活動していきます。

PSCあおもりではメンバーを募集しています。重い身体障害があっても選手として参加できる数少ないスポーツのひとつです。共用の車いすが2台あるので手

ぶら? できてもらえれば大丈夫です。まずは見学を!

場 所 ねむのき会館体育館

練習日 5月10日(金) 5月24日(金)

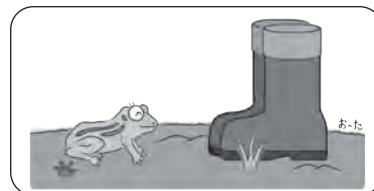
6月14日(金)

時 間 17:00~18:30



重さ = 5 kg

★サッカー用電動車いすの充電に使用するためポータブル電源を購入しました。もともとはアウトドア用だそうですが、災害時にも威力を発揮しそうです。



車いすで暮らす私の家

佐藤広則

15年ほど前からこの家で暮らしている。それまでは平屋の借家だった。

知人から紹介してもらった建設会社に、簡単な間取り図を持って行って「建築費が安く、車いすで暮らせる家」の相談をしたらこうなった。

そのころ私はまだ、外は電動車いすで、家の中では松葉つえで移動していて、家の中も車いすで移動することは想定していなかったが、ドア幅は70センチ以上にしてもらっていたので、今でも動線に多少不自由はあるものの、何とか暮らすことができています。



玄関

入り口の段差が4cmで、室内へはあと2cmの段差があるだけだ。床下がないのだが、近所が浸水したときでも、我が家は大丈夫だった。



トイレ

ドアの前で車いすから介助で立ち上って、松葉つえで便座に座る。



寝室

3モーターのベッドとエアマット(介護保険のレンタル品)。



ダイニングテーブル

幕板がないので電動車いすの操作レバーがあたらない。



仕事部屋

パソコンとテレビと整理したい本がたくさんある。



風呂

あずましく湯船につかれる水圧式のリフト。ヘルパー一人で大丈夫。同じものはもう販売していないようだ。壊れたらどうしよう。

瞬間湯沸かしポット

制度を知ろう! ～選挙・投票編

今回から不定期で、障害者制度についてのコーナーを設けることになった。

第一回目は、選挙で障害者が受けられる制度を紹介していこうと思う。今年は選挙イヤーである。亥年の統一地方選挙と参議院選挙の重なる年は、与党が負けるといったジンクスもあるとかないか…。

まずは青森市選挙管理委員会に電話をしたら、障害者の選挙制度に関する資料を送ってもらえるとのこと、それを読みながら記事を書いてみることにした。

選挙制度は大きく分けると、

- ① 『郵便等による不在者投票制度』
- ② 『郵便等による不在者投票における代理記載制度』
- ③ 『代理投票制度』の三つがある。

まず、①も②も事前に郵便等投票証明書が必要になる。この郵便等投票証明書は、選挙人名簿登録地の選挙管理委員会に、選挙人本人の署名が入った申請書と身体障害者手帳か戦傷病者手帳か介護保険被保険者証を送付して申請をする。

選挙管理委員会はその申請書類をチェックして該当すれば申請者に郵便等投票証明書を送付する（該当するかどうか分からないときは福祉関係窓口を確認をとっているそうだ）。

これで、晴れて投票ができる体制が整った。

投票は、郵便等投票証明書と本人の署名が入った請求書を選挙管理委員会に送って、届いた投票用紙に投票し、同封されてきた封筒に入れて送り返して完了する。

②については、①の制度を応用するが、選挙人の署名不要の届出書、代理記載人の同意書・宣誓書（署名付き）、身体障害者手帳か戦傷病者手帳を選挙管理委員会に送付して、送られてきた代理記載の可能である旨を記載した郵便等投票証明書で投票する。投票用紙を請求する請求書にも投票用封筒にも代理記載人の署名が必要になる。

最後の③は、心身の故障や字の読み書きのできない者で、投票用紙に候補者名を書くことができない者に限られている。ただし、本人が意思表示ができることが絶対条件である。代理投票は、その旨を投票所で口頭で申請をすれば良い。投票管理者が指名する二人の投票従事者の補助で投票する。現時点では、ヘルパーが代理投票をすると違法行為になる。

また、代理記載人が選挙人の指示する候補者名を記載しなかった場合は、2年以下の懲役又は30万円以下の罰金で処罰される。

今回のコーナーに協力していただいた青森市選挙管理委員会の皆様ありがとうございました。（白戸駿平）

「もしも、事業所での業務中に災害が起きたら」

福祉事業所では、昨今の多発する災害を受けて、「水害・土砂災害の取り組み」に対する対策が求められている。私が思うに、青森の人間は私も含めておしなべて災害に対して無防備であり、「雪はたくさん降るけど、大地震も酷い水害もないからいい所だ」と根拠のない安心感に包まれているように感じる。

万が一、水害・土砂災害が実際にこの場所で起きたらどうすればいいのだろう、と考えてみた。2階はあるが階段しかないので車いすのメンバーは行けない。青森市の危機管理課に電話をして、当事業所の利用時に災害が起きた場合の避難先について尋ねてみた。近隣の千刈小学校・篠田小学校・沖館市民センターがあがったが、沖館市民センターだと、海に向かっていくことになるから危険ではないかと聞いたら「陸奥湾は大きな津波は来ないから大丈夫」と言われた。あの3.11は金曜日の午後2時46分。電話が通じなくて家族に連絡がつかない中、車いすのメンバーは5人くらいだったか、信号が消えた国道を、安全に気を配り自宅まで送り届

けた。今であればTwitterやFacebookなど災害時にもつながりやすいSNSで情報を集めて、みんなが安全に帰宅できる事をまず最優先に行動することが第一であろう。（佐藤真理子）





外出企画 ランチに出かけよう

看板に雪が...

日時 3月23日(土) 11:00

場所 菜園スファエ ピソリーノ (バイキング、パスタ、ピザ)

●ランチ食べ放題 1,706円(税込)

当日は雪が舞う少し寒い日になりましたが、みんな楽しみに待っていた日なので、気分は春かな? 参加したのは、車いす5名、その他職員含め7名の12名でした。

参加者の感想一言

- ◆初めてのピソリーノで、どんな感じなのかなと期待と緊張があったけど、ピザ、パスタ以外のものも色々あって味も美味しく良かった。(石塚)
- ◆前々から気になっていたお店で、初めて行かせてもらいとても良かったです。食事はパスタとピザを一皿ずつ頂き、とてもおいしかったです。また同じ様な企画を立ててもらえれば良いと思います。(齋藤 満)
- ◆ピザもパスタも美味しくお腹一杯になるまで食べて幸せでした。^o^(白戸 玲)
- ◆たらこクリームパスタが美味しかった。(s.s)
- ◆ピソリーノは初めてだったので、どういうところが楽しかったです。ピザ、スパゲッティを頼み、ドリンク、デザートバイキング方式で持ってきていつも以上に食べたお腹いっぱいになりました。(成田)
- ◆楽しかった!この一言につきます。(小野)



株式会社ユニバース の皆さまに感謝!

「2018年 ユニバース愛のチャリティー募金」で立派なファンヒーターを3台、寄贈していただきました。ありがとうございました!

就労継続支援B型事業所の見学会に参加

日時: 2月25日(月)

報告者: スタジオとまと職員 福田 和

事業名: 青森県工賃向上支援事業

B型事業所「くいーるジョナサン」とNPO法人「ドリーム工房」の見学会に参加しました。

両事業所共に精神・知的の利用者を主体としています。

「くいーるジョナサン」では、ポップコーンの製造や販売、猫グッズやアクセサリ製作をしています。ポップコーンは主に市内のほとんどの生協に3種類ほど卸していて、イベントにも精力的に参加しているそうです。食品の需要の高さとイベント参加の重要性を改めて感じました。

「ドリーム工房」では新聞やチラシ等リサイクルの仕分け、アロマキャンドルやハーバリウムなどの創作、シール貼りや包装、ねぶた商品の組み立て等の委託事業をしています。委託事業での実績や、販売商品の丁寧な商品作成が売上に繋がっていると感じました。

スタジオとまとでも新しい作業として取り組めることがないか検討中です。

花見の お知らせ

日時 5月2日(祝)

場所 合浦公園

雨天の場合はショッピングセンターへ行きます。

土曜企画

しゅみ活「絵、描こうよ」

参加者自己紹介



名前 木下 昌昭(キノシタ マサアキ)

年齢 35歳(独身)彼女募集中です!(笑い)

影響を受けた人 ねぶた師:佐藤伝蔵(サトウ デンゾウ)さん

参加のきっかけは絵を通して人と繋がりたいと考え、約1年前から主にねぶた絵を描いています。『和』にこだわります!。参加してみたら普段と違う環境で描けるのが楽しいので、これからも多くの人と繋がって楽しく過ごしたいです。個人的には地域ねぶたを制作しているので、ねぶたに興味を持ってくれる人が増えてくれると嬉しいです。

～編集後記～

- 車いすだからわかるけど、歩道のがたがた、ベビーカーの赤ちゃんもきついよね。(広)
- 最近、青森県を日本一のバリアフリー先進県へと意気込んでいます。(s.s)
- 歯のかみしめ・くいしばり・歯周病の治療を始めて1年余り。持病の血液検査の数値が良くなってきた。本当です。お口の汚れは万病の元!(M)
- 青森の桜の開花予報が4月22日だそうです。満開になるのが待ち遠しいです。(F)
- 毎身体調不良になる季節の変わり目がやってきました。今年はお腹の調子が悪いです。(J.M)
- ヴァンラーレ八戸J3おめでとう!ラインメール青森も早くJ3へ!、Jの舞台で「青森ダービー」しびれる。(N)
- 本州最北の青森にも春が…。待ちわびてました。山菜料理たべた〜い。(A)



お-た